

7月20日、旭川市民の日フェス（旭川西イオン）会場にてブース出展を行いました。作業療法学科では、旭川の地域活動推進などを目的にした各種取り組みに協力させていただいております。同イベント内の旭川市民の日表彰では参加させていただいている取り組み・実行委員会が特別賞を受賞しました。詳細は旭川市ホームページもご確認ください。今回のイベント参加もそのような取り組みの延長にあるものです。

地域支援の現場では様々な業種・立場の方が協力してイベントを実施したり、地域課題を解決しようとしています。そのような中に学生も参加することによってコミュニケーション等の基礎力を向上したりノウハウを得て、ほかの場面に汎化できるようになることを期待している教育の一環とも考えています。

さて、実際のブースの内容ですが、旭川初登場の「TANO」というリハビリテーションデバイスを展示体験できるものとなりました。多くの人に目を止めていただき、実際に体験していただくことができました！

昨今のリハビリテーションの現場ではロボットリハビリやデジタル・AIを用いた内容も広がりを見せています。10年ひと昔と言いますが、リハビリテーションの現場も変わってきております。

実は、皆さんの身近な取り組みの中に、北都保健福祉専門学校・作業療法学科がいるかもしれません。もし学校の名前を目や耳にすることがあれば、遠慮なくお声かけください！

